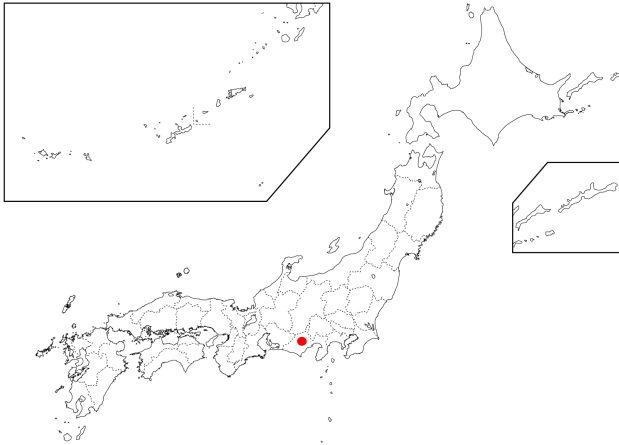

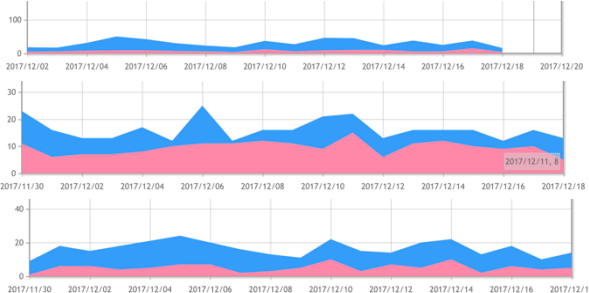


感染性胃腸炎の流行感知に関する報告（概略）

<p>担当者</p>	<p>竹内 瞭</p>
<p>疾患名（原因ウイルス）注1)</p>	<p>感染性胃腸炎（ノロウイルス）</p>
<p>都道府県（罹患者数）</p>	 <p>静岡県（58人）</p>
<p>疾患の発生状況</p>	
<p><u>毎日新聞（2017年12月16日報道）</u></p> <p> 毎日新聞</p> <p>感染性胃腸炎 58人が下痢や嘔吐 浜松の県教育施設 / 静岡</p> <p>毎日新聞 2017年12月16日 地方版</p> <p>県教育委員会は15日、同委が所管する青少年教育施設「県立観音山少年自然の家」（浜松市北区）で、11～13日に施設を利用した小学児童と教員の計58人が下痢や嘔吐（おうと）、発熱などの症状を訴えたと発表した。入院患者はおらず、全員快方に向かっているという。医療機関を受診した児童の多くは「感染性胃腸炎」と診断されているといい、浜松市保健所が原因を調べている。</p> <p>県教委によると、施設を利用したのは牧之原市立相良小、同市立坂部小、御前崎市立浜岡東小の3校で、いずれも5年生が自然体験で利用し、2泊した。利用者は3校で児童159人、教員17人の計176人。12日夜から児童らが体調不良を訴えはじめ、14日までに児童55人、教員3人が症状を訴えた。</p> <p>施設では食事の提供もあったため、浜松市保健所は、感染症と食中毒の両方の可能性があるとして、原因を調べている。【井上知大】</p> <p>2017年12月11～13日に、静岡県浜松市でノロウイルスについて58人規模の流行が見られた。</p>	<p><u>つぶやきくん(IG)による検出状況</u></p> <p>下図は上から静岡県での「寒気」、「下痢」、「悪心」に関するつぶやきの総数（赤は陽性、青は陰性）を示す。</p>  <p>ノロウイルスの潜伏期間は約24時間以内といわれており、今回の件ではつぶやき数は11～14日に増加すると思われる。今回の件では、3つの症状のつぶやき数に際立った増加は見る事ができなかった。以上のことから、今回の件については検出することができなかったと思われる。</p>

西暦 2017年 12月 18日

奈良先端科学技術大学院大学
ソーシャル・コンピューティング研究室

感染性胃腸炎の流行感知に関する報告（詳細）

記

担当者	竹内 瞭		
疾患名	ノロウイルス		
疾患の概略	24時間ほどの潜伏期間を経て、37～38度の発熱と痛みを伴う下痢や嘔吐を繰り返し、吐き気も続く食中毒に似た症状を発症する。		
原因ウイルス	ノロウイルス	発生都道府県(罹患者数)	静岡県(58名)
疾患の発生状況	12/11～12/13にノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生し、58人が罹患した。		
流行感知の状況	今回の件について、流行感知することはできなかった。		
つぶやきの増加期間	増加期間は見られなかった。		
詳細な経緯	<p>県教育委員会は15日、同委が所管する青少年教育施設「県立観音山少年自然の家」（浜松市北区）で、11～13日に施設を利用した小学児童と教員の計58人が下痢や嘔吐（おうと）、発熱などの症状を訴えたと発表した。入院患者はおらず、全員快方に向かっているという。医療機関を受診した児童の多くは「感染性胃腸炎」と診断されているといい、浜松市保健所が原因を調べている。県教委によると、施設を利用したのは牧之原市立相良小、同市立坂部小、御前崎市立浜岡東小の3校で、いずれも5年生が自然体験で利用し、2泊した。利用者は3校で児童159人、教員17人の計176人。12日夜から児童らが体調不良を訴えはじめ、14日までに児童55人、教員3人が症状を訴えた。施設では食事の提供もあったため、浜松市保健所は、感染症と食中毒の両方の可能性があるとして、原因を調べている。【井上知大】</p>		